

Advance 防災通信 暮らしの安心 "防災かわらばん"



防災士
防火・防災管理者
稻垣 康弘

賞味期限切れのペットボトルの「水」は飲める？

災害時の備蓄として保存していた「ペットボトルの水」を確認したら
「賞味期限が1年以上過ぎていた」ということは起こりがちです。
こんな時、皆さんはどうされますか？

飲みますか？ それとも 捨てますか？



「賞味期限の切れたペットボトルの水」は捨てないでください！

「水」は有機物を含まない「無機物」であるため、基本的にキャップを開けずに密閉されて
いている状態であれば「腐ることはありません」

特に日本のペットボトルの水は、「ろ過除菌」や「加熱殺菌処理」しボトリングされているため
適切に保管され、未開封であれば水の品質が変化することはありません。

ですので「賞味期限が切れたペットボトルの水を飲んでも問題はありません！」

参照：消費者庁ホームページ(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/stockpile)
参照：警視庁警備部災害対策課(https://twitter.com/MPD_bousai/status/1358569535150821376?lang=ar)



ペットボトル水が腐った(腐敗)状態かの見分け方

ペットボトルが劣化や変形したりして、そこから菌が入り込み繁殖する可能性もあります。
賞味期限が過ぎた水を飲む場合は、水の状態を十分に確認してから飲んでください。
確認ポイントは、①「ペットボトルが劣化や変形していないか」②「キャップが緩んで
いないか」③「水の中に浮遊物などが混入していないか」④「白く濁っていないか」
⑤「臭いをかいてみて生臭かったりカビ臭くないか」⑥「飲んだ時に変な味がしない
か」などです。

少しでも違和感を感じたら「水が腐った状態」の可能性があるので飲むのはやめましょう。



ペットボトル水の「賞味期限」って何？

賞味期限とは、「食品を美味しく食べたり飲んだりできる期限(品質保持期限)」ですが
実はペットボトルの水の賞味期限は「おいしさの目安 ではありません」

ペットボトルの賞味期限は、「表示内容量が担保される期限(内容量維持期限)」

なんです。ペットボトルにはわずかな通気性があり、時間が経つにつれて中の水が蒸発
し徐々に中身の量が減っていき、ペットボトルに記載されている内容量より一定量以上
少なくなると「計量法」という法律により販売できなくなります。

そこで多くのメーカーは計量法違反を防ぐため、蒸発量を逆算し「内容量維持期限」
として賞味期限としています。

※ 計量法では「500mlのペットボトルなら誤差2% (10ml)まで」「2リットルのペットボトルなら誤差1% (20ml)まで」と定められています。



「長期保存水」と「普通の水」何が違うの？

長期保存水は、「保存用の薬品が入っている？」「特別な製法で処理されている？」などと
思われている方が多いのですが、実はそのような特別な違いではなく「長期保存水と普通の
水とはほとんど同じ水」です。

では何が違うのかと言うと、通常のペットボトルに比べ「容器が分厚い」「キャップが頑丈で
ビニール包装されている」など、「水が蒸発しにくい」ようにな作られています。



開封したペットボトル水はいつまで飲める？

開封したペットボトルの水は、空気中の雑菌が侵入し腐敗が始まるため、飲める期限があります。「常温保存で1日程度」「冷蔵庫で保存した場合は2~3日以内」に飲み切ることが推奨されています。また、一度口をつけて飲んだときは口内菌が入ってしまい、より雑菌が繁殖しやすくなるため、なるべく早く飲み切るか、数回に分けて飲む場合は、コップに移し替えて飲むことで雑菌の繁殖を抑えられ、飲める期限を少し延ばすことができます。